

制作現場から生まれた ファイル管理システム「EDS」

エコインテック株式会社

データの「先祖返りトラブル」（誤って古い制作データに置き換えてしまうトラブル）がゼロに——中国・大連に100人のDTPオペレーターを擁し、年間平均約3万ページの制作を行うエコインテック（岐阜本店/東京本社）は、ファイル管理、進捗管理、実績管理を行うDTPプロジェクト管理システム「EDS」（Echo Dtp Solution）を自社開発し、2013年5月に大連の制作現場で導入した。以降運用を重ねながら改善を続けてきた「EDS」はトータルシステムとして、あるいはより機能を絞ったライト版として印刷会社・制作会社に提供されている。尾頭豊社長は「制作現場の悩みを解決するためのシステム、いわば『制作現場から生まれた』管理システムである」と話している。

標準化とシステム化で人的ミスを最小限に

エコインテックは中国・大連と連携したDTP制作で知られている。中国DTPというと、まず低価格というイメージが頭に浮かぶが、同社では品質にこだわり、人的ミスを生じさせない仕組みづくりに取り組んできた。その両輪となっているのがワークフローの標準化と進捗などの管理のシステム化である。

同社は創業当初から情報システム開発を事業としており、さまざまな業界に基幹システムなどを開発してきた。DTP関連でも校正ツール「BitMatch Pro」やテキストデータ照合システム「e-compare」、FAX入稿システム「FBS」などの実績がある。

約100名のオペレーターをマネジメントする大連エコの運用体制とそれを支えるプロジェクト管理システム（EDS）について説明する。

EDSの最大の特徴は、ファイル管理の自動化である。オペレーターは自分が担当する仕事以外のファイルは触れることも目にするこすらない。

作業を始めるときはサーバーからファイルを手元にダウンロードし、作業が終わるとサーバーにアップロードする（チェックイン、チェックアウト）。その間の作業時間は自動的にシステムに記録される。ファイルのバージョン管理もシステム側で自動的に行われ、古いファイルを誤って編集してしまうことは物理的にあり得ない。



図1 大連エコー DTP制作チーム

また、DTPのファイル（作業フォルダ）は、得意先や品名などの受注情報とひも付いて管理されるので、過去の仕事のDTPファイルの検索が容易であるし、作業実績の情報は個別原価管理にも利用することができる。

次にEDSの運用を業務の流れに沿って説明する。

大連エコーは、管理課と制作課という二つの組織からなる。管理課は文字どおり業務管理のみを行いDTPのオペレーションはしない。日本の印刷会社ではDTPチームのリーダーはプレイングマネージャーで、かつプレイヤーとしての比重が大きいことも多いが、大連エコーでは完全に業務が切り分けられている。これにより無理やロスのないスムーズな進行が可能となる。また業務フローの標準化を図るうえでも大きなポイント

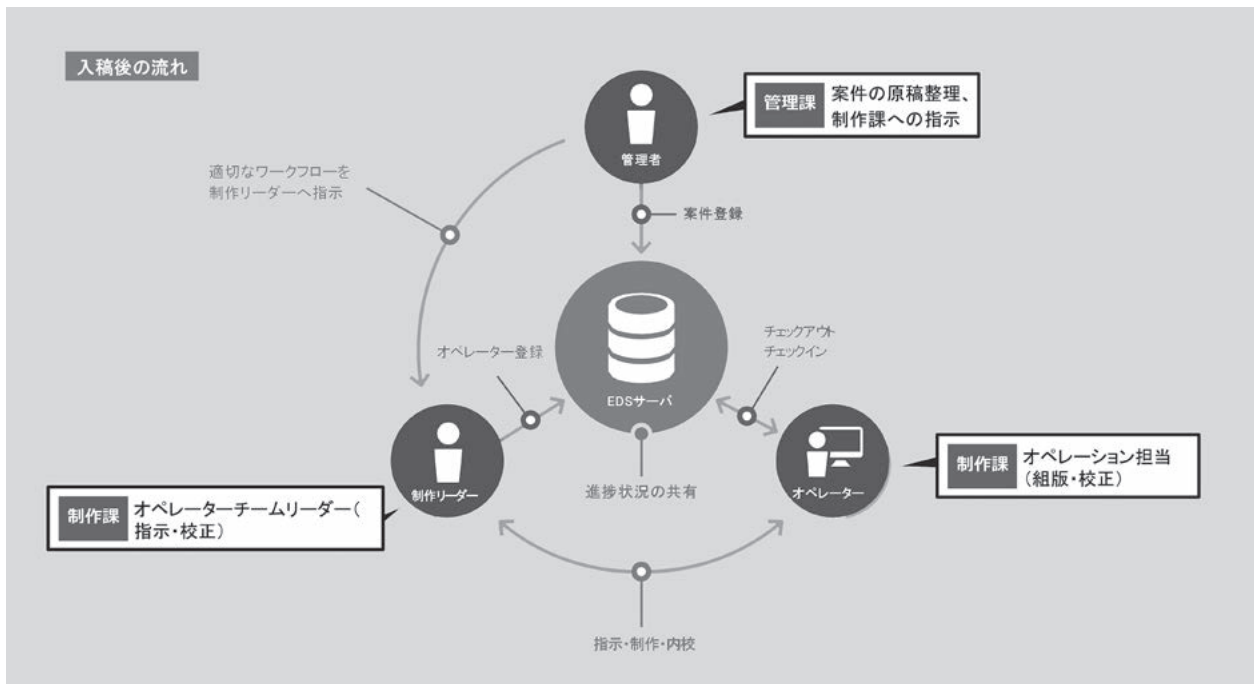


図2 EDSの基本フロー

図3 ジョブ登録

トとなっている。

①新規の仕事が入ると管理課で内容の確認や原稿整理を行ってから、EDSに受注情報を登録し、入稿データをアップロードする。このときに制作課に作業指示を行う。

②制作課のリーダーがDTP作業を担当するオペレーターを決め、誰が担当するかをシステムに登録する。仕事を割り振るときには、必ず事前にシステムに登録

することが運用のポイントである。

③制作課のオペレーターがEDSにログインして、担当するジョブのフォルダにアクセスする（自分の担当外のフォルダにはアクセス不可）。ローカル（自分のPC上）にデータをダウンロードし、作業に取り掛かる。

④制作オペレーターはDTP制作後、サーバーにログインしデータをアップロードする。するとローカルのマシンにあるデータはすべて自動的に削除される。これにより、同様のファイルが複数存在して誤ったファイルを編集したり、ファイルが先祖返りを起こすことは物理的になくなる。

⑤制作課の制作リーダーが校正をする。

⑥管理課が最終確認後、承認し、顧客に納品する。

このような仕組みづくりと決められたルールをきちんと守ることで人的ミスの発生が起り得ないようにしている。

また、サーバーへのアクセス履歴が残ることで、仕事の進捗の一元管理が可能となる。進捗状況はウェブページで確認できるので、インターネット環境とアクセス権限があれば社内のみならず、協力会社や顧客もリアルタイムで把握できる。またオペレーターの作業効率の分析などにも活用できる。

エコーインテックではEDSの導入以来、先祖返りのミスは発生していない。この実績をもとにEDSの販売を開始し、すでに印刷会社数社で採用されている。

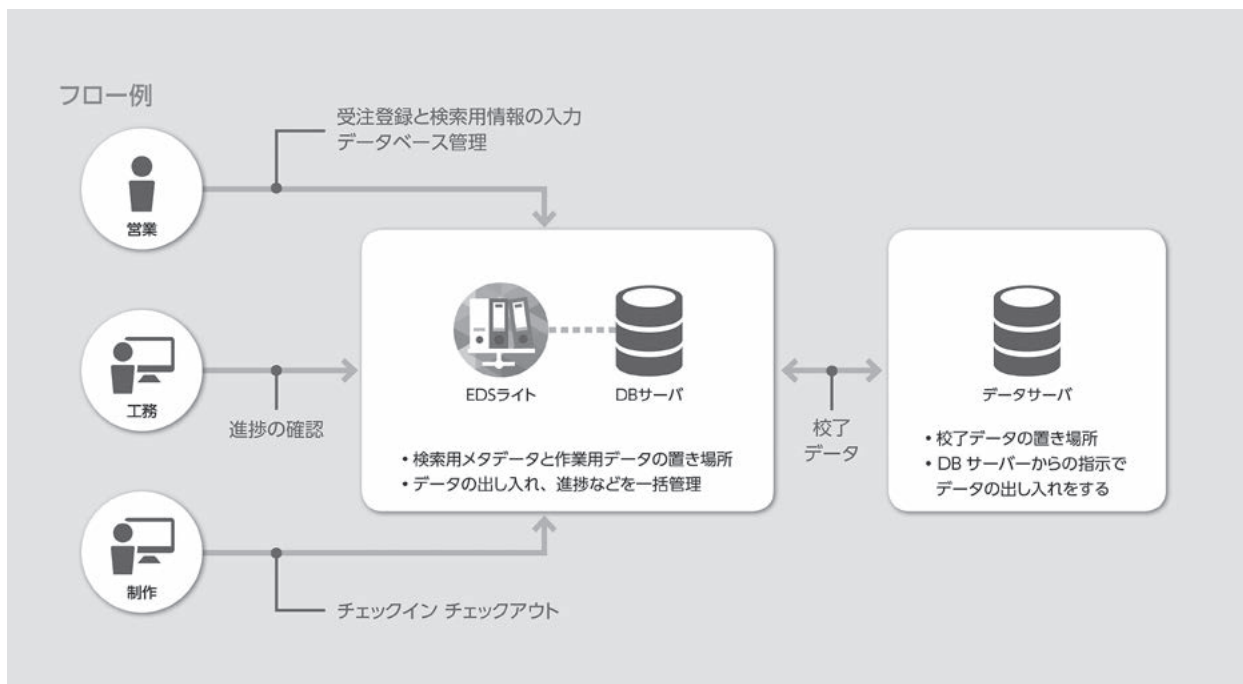


図4 EDSライトの基本フロー

ファイル管理機能に絞った「EDSライト」

規模の大小を問わず多くのDTP制作現場での悩みの種がファイル管理であろう。オペレーターがそれぞれ自由に原稿をサーバーから取り出したり、ローカルにデータを落として修正したり、サーバーに戻したりしては、どれが正しいデータかが分からず、進捗に支障をきたす。特に致命的なトラブルとなるのはいわゆる「先祖返り」で、古いデータで作業してしまい、そのまま納品してしまうと大きな事故になる。何より顧客からの信頼を失ってしまう。

そこで、EDSの多くの機能のうち、ファイル管理に絞り「EDSライト」として販売することとした。

受注番号・得意先・品名・営業担当者などの受注情

報と関連付けて管理するので、在版データの検索もスムーズである。

「お客様のデータは会社の資産であるにも関わらず、今までの印刷会社はメディアで預かったファイルをオペレーターが直接、自分のPCにコピーするような個人任せの運用が多かったと思う。そのようなフローから脱却し、DTP制作の業務フローの標準化を中小企業でも導入しやすい価格設定で提供しているのが『EDSライト』である。高額なファイル管理システムを導入し、システムに自社のワークフローを当てはめるのではなく、身の丈に合った標準化が行える点がメリットである」と板津 浩久常務取締役は話している。

数万アイテムの進捗管理も自在に

エコーインテックではそのほか、お客様（印刷物の発注者）への業務改善提案から生まれたWeb表示型の進捗シェアシステム「MIERU」を発売する。

きっかけは、部材が数万アイテムにも及ぶ通販カタログの制作であった。管理対象としては、①商品情報の管理（商品名やメーカー名、価格、販売単位など）、②パーツ制作の進捗管理（商品ごとの撮影、画像合成など【外注先が複数】）、③DTP組版の進捗管理（約1300ページのカatalogの台割情報と組版作業の進捗管理）と多岐にわたる。

これらの商品情報、進捗状況をウェブ上で共有し、



図5 EDSライト ファイル管理画面

| 1 | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|---|---------------|-----------------|------|----------|-------|--------|------|-----|-----------|
| | JAN | 商品名 | メーカー | 単位 | 容量まで | 価格(税込) | 大分類 | 中分類 | 小分類 |
| 1 | 4900000000001 | ナチュラリアウォーター | echo | 1箱(12本入) | 2.0L | 1290 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター |
| 2 | 4900000000002 | ナチュラリアミネラルウォーター | echo | 1箱(12本入) | 600ml | 1200 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター |
| 3 | 4900000000003 | 響楽メイト | echo | 1箱(12本入) | 1.2L | 1200 | 食品飲料 | 飲料 | 食品飲料 |

Excelでの商品情報管理画面
図6 商品情報管理の変化

| 商品コード | 商品名 | メーカー | 規格/単位 | 価格(税込) | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 納入開始 | 更新日時 | 操作 |
|---------------|-----------------|------|----------------|--------|------|-----|-----------|------------------|------------------|----|
| 4900000000001 | ナチュラリアウォーター | echo | 1箱(12本入) 2.0L | 1290 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター | 2016/10/11 13:10 | 2016/10/11 13:10 | 更新 |
| 4900000000002 | ナチュラリアミネラルウォーター | echo | 1箱(12本入) 600ml | 1200 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター | 2016/10/11 13:10 | 2016/10/11 13:10 | 更新 |

MIERUでの商品情報管理画面

| 1 | A | B | C | D | E | F | G | H | I | |
|---|------|------|------|-----|-----------|----|-------|------|----|------|
| | 進捗番号 | メーカー | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 内容 | 制作会社D | 制作会社 | 工程 | 制作状態 |
| 1 | 1180 | 1180 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター | 本文 | 1 | 印刷会社 | 再校 | 納品済 |
| 2 | 1181 | 1181 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター | 本文 | 1 | 印刷会社 | 再校 | 納品済 |
| 3 | 1182 | 1182 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター | 本文 | 1 | 印刷会社 | 再校 | 納品済 |

Excelでの進捗管理画面
図7 進捗管理の変化

| 進捗番号 | メーカー | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 内容 | 制作会社 | 工程 | 制作状態 | 納品 | 更新日時 |
|------|------|------|-----|-----------|----|------|----|------|------------|------------------|
| 1180 | 1180 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター | 本文 | 印刷会社 | 再校 | 納品済 | 2016/10/11 | 2016/10/11 13:10 |
| 1181 | 1181 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター | 本文 | 印刷会社 | 再校 | 納品済 | 2016/10/11 | 2016/10/11 13:10 |
| 1182 | 1182 | 食品飲料 | 飲料 | ミネラルウォーター | 本文 | 印刷会社 | 再校 | 納品済 | 2016/10/11 | 2016/10/11 13:10 |

MIERUでの進捗管理画面

一元管理することで、発注者のみならず複数の制作会社間でのスムーズなコミュニケーションが実現するとともに、管理のための膨大な労力を削減することができた。

以前は2~3万アイテムの商品情報をMicrosoft Excelで管理し、進捗についてExcelファイルをやり取りしながら管理していた。

具体的なフローは次のようになる。

- ①商品情報入稿=顧客から商品情報が入稿される。
- ②台帳入稿・精査=印刷会社のディレクターが受け取った商品情報のCSVをウェブの商品管理画面にアップ。
- ③原稿制作=印刷会社の担当者が商品情報を基に原稿を制作。各外注の製作者に入稿する。
- ④入稿=外注の制作会社はサーバーに入稿された原稿一式を基に制作を開始する。
- ⑤進捗管理=ディレクターが台割をウェブの進捗管理システムにアップ。
- ⑥校了

進捗表をCSVで書き出し、修正して、ウェブ上に戻すといった便利な機能も持っている。

エコインテックでは2月8日~10日まで開かれるpage2017に出展、「EDS」「EDSライト」Web表示型の進捗シェアシステム「MIERU」などを提案する。庄司正幸DTP営業部テクニカルプランナーは、「エコインテック=中国DTPというイメージを持たれている方も多いが、当社はシステム開発力を事業の柱にしてきた。DTP制作現場の声を生かし、システム開発のできる制作会社としての認知を上げていきたい。カスタマイズにも柔軟に対応していく」と話している。

(研究調査部 花房 賢、光山 忠良)

■製品についてのお問い合わせ エコインテック株式会社

東京 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目3番地4号
(江戸ビル9階)
TEL 03-3231-7571 / FAX 03-3231-7572 担当: 山田

岐阜 〒500-8152 岐阜県岐阜市入舟町3丁目20番地
(echoビル)
TEL 058-245-0433 / FAX 058-245-0656 担当: 板津

E-mail: echo@echointec.com